



水田が持つ水質浄化の可能性を評価

— 水田は水質を浄化する大きな力を秘めています —

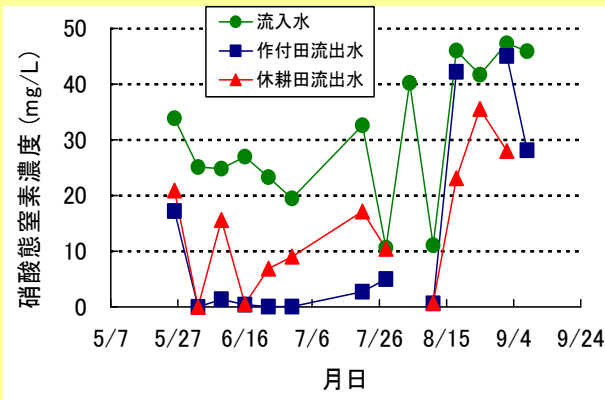
開発の背景・ニーズ

農地に施用される窒素肥料は作物にとって大切な栄養分ですが、過剰に施用されると余剰分が硝酸態窒素として川や海に流れ込み、水質を悪化させることが懸念されています。そのため、農地からの肥料成分の流出を減らすよう対策が求められています。

成果の内容

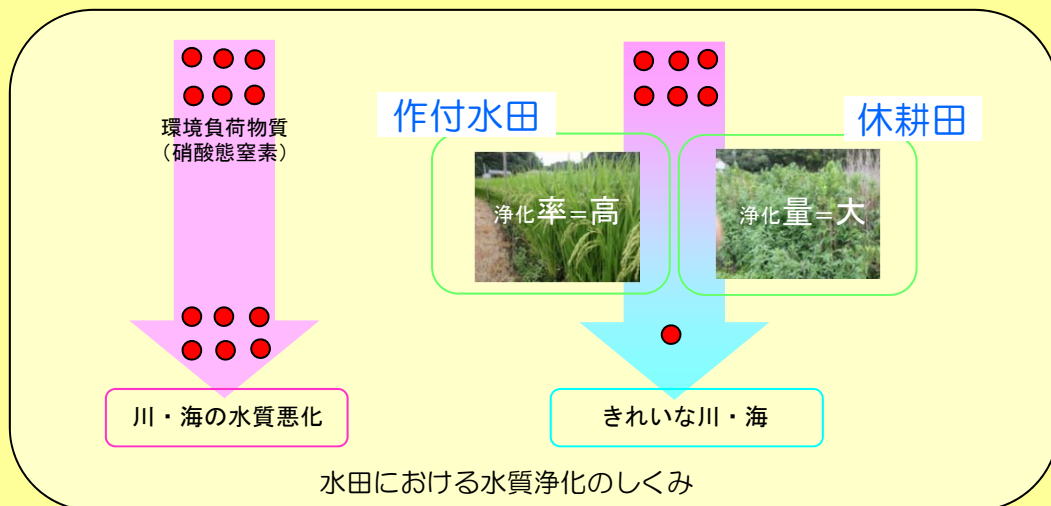
水田が持つ水質浄化能力を調べるために、硝酸態窒素の浄化量を水稻作付け水田と休耕田で測定しました。硝酸態窒素は水田を通過すると濃度が顕著に低くなり、水稻作付け水田では97%もの硝酸態窒素が浄化されました。休耕田も含めた水田全体での水質浄化が期待されます。

水田を流れた硝酸態窒素の濃度変化



硝酸態窒素の浄化量及び浄化率

	流入水窒素量 (g/m ²)	流出水窒素量 (g/m ²)	差引き窒素浄化量 (g/m ²)	見かけの浄化率 (%)
作付田	28.8	1.0	27.8	97
休耕田	92.3	36.4	55.9	61



愛知県農業への貢献

水田が持つ水質浄化能力を周知することで、環境保全に果たす水田の重要な役割について理解が深まり、水田の有効利用を促進し、水質の改善及び環境の保全に貢献できます。